

千里メイプル ロータリークラブ

創立 1998年6月13日



例会日 毎週木曜日 18時30分
例会場 ホテル阪急 エキスポパーク

会 長 松 田 親 男
幹 事 山 本 友 亮
会報委員長 山 下 聡 一 郎

2015-2016年度 RIテーマ

Be a gift to the world
(世界へのプレゼントになろう)

会長 K. R. ラビンドラン

2015年12月 3日発行 会報818号

今週のプログラム

(2015年12月 3日 第818回例会)

卓話: 「盲腸線」

担当: 相原 正雄 会員

次週のプログラム

(2015年12月10日 第819回例会)

卓話: 「イニシエーションスピーチ」

担当: 渡邊 了允 会員

第817回例会 (2015年11月26日) の記録

<会長の時間>

松田親男会長

皆さん今晚は、11月の例会は今日でおしまいで、次回は12月です。12月になると、また新しい仲間が一人増えます。1日付で渡邊了允様が入会され、3日の例会で入会式を行い、翌週の10日には、早速イニシエーションを行っていただく予定になっています。また、来週の例会は、年次総会を開催し、会長ノミニー及び次年度の理事役員の選挙を行いますので、ご出席宜しく願いいたします。

さて今日は米山財団のお話です。先週藤田会員が詳しく話していただいたのですが、古いロータリーの友を見ていて、面白い記事に気がつきましたので、ご紹介します。10月1日の会長の時間に米山のお話をしましたが、今日はその続編です。2013年から2014年度の地区米山委員長の記事から紹介します。この方は米山寄付目標を一人年間3万円にしろと言っています。チョット資料としては古いのですが、当時の原稿のまま紹介します。奨学生の採用数は、2005年にはそれまでの1000名から800名に削減され、2013年度から更に100名削減され700人となっています。先週の藤田会員のお話では2015年度も通常プログラムは703人ということでした。2660地区も2008年には42名、地区のクラブの半数に奨学生が行き渡っていたのですが、2013年には38名となっています。今年度はもっと少ないと思います。次に、全クラブが奨学生をお世話するときのコストはいくらかを計算されています。奨学金が一人、14万円として12ヶ月で168万円、84クラブ(現在は81クラブ)のコスト総額はこれに84を掛けて約1411万円となります。ロータリアン数3700人(今は3600人)で割ると1人約3万8141円です。従って、一人4万の寄付で全クラブに奨学生が行き渡るといことです。一方で寄付目標は2万円とされているのですが、達成されているかという、過去5年間一度も達成されていないようで、クラブ別に見ても、2万円達成クラブは84のうち36しかないそうです。いきなり、4万円というのも難しいので、まず3万円から始めようと提唱しています。2万円達成を目指すことが先ではないかという意見については、それでは意識は変わらない、と反論されています。

この記事で勉強になったことが二つあります。現行では普通寄付5000円、特別寄付1万5000円が目標とされていますが、なぜ二つにわかれているのかわかりませんでした。米山が財団法人の認可を受ける時に、文部省は安定収入がないとして難色を示したそうです。そこで、普通寄付という安定収入がありますよと説得するために、普通寄付と特別寄付に分けたというのです。もう一つは指定校の数です。地区内に47の指定有資格校が存在し、そのうち24校が指定校となっているそうです。他の地区に比べてこの数字は多いんだそうで、当地区は米山奨学制度にとって恵まれた環境にあるとおっしゃっています。

<お客様>

神戸大学大学院助教 鈴木 佳子 様

<出席報告>

西本明文 出席担当

会員数（内出席免除会員 4 名） 23 名

本日の出席者数（内免除会員 1 名）

15 名

本日の出席率 75.00 %

前々回 11 月 12 日の修正出席率 85.71 %

<ロータリーソング>

全会員

♪ 学生時代 ♪

<ピアノ演奏>

近藤美里さん

1 主よ 人の望みの喜びよ

2 さよならを教えて

3 If We Hold On Together

4 スカボロ・フェア

<幹事報告>

山本友亮幹事

1. 地区大会に出席される方に最終案内を昨日 E メール添付でお送りしましたので、ご確認下さい。
2. RI 日本事務局より 12 月のロータリーレートは \$ 1 = ¥ 120 との連絡がありました。上半期の財団特別寄付金は 12 月 17 日例会分までを送金予定です。
3. クリスマス例会の出欠回覧表及び会員名簿の確認がまだの方はご記入をよろしくお願い致します。
4. 例会終了後に雑誌・書類のお忘れ物がございりますが、どなたの物かわかりませんので、メールボックスの空いている引き出しに入れてあります。お心当たりの方はお持ち帰りください。

<委員会報告>

親睦委員会

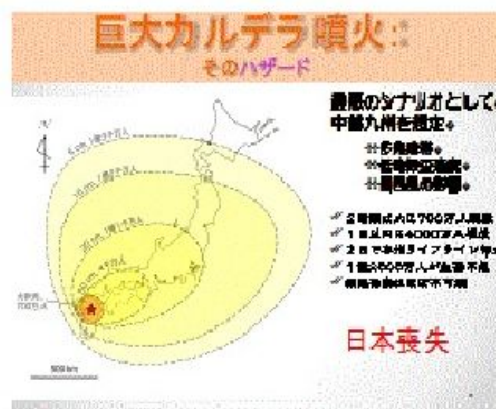
水本親睦委員長

クリスマス例会の出席表を回します。よろしく申し上げます。

日本には110個の活火山があります。火山とはマントル上部で生成されたマグマが地表に噴出し、噴出物が周囲に堆積した結果山をなします。マグマとは珪酸塩(SiO₂)に金属元素が混ざったもので、高温の岩石が溶けたものです。

日本になぜ火山がたくさん存在するかというのは、地球の表面にプレートと呼ばれる岩盤のようなものが存在するのが原因です。プレートは海嶺で生まれ、どんどん動いて、沈み込んで行く所が海溝になります。日本海溝は、まさにプレートが沈み込んでいる所なのです。プレートが沈み込むことによって、日本列島の地下でマグマが形成されるのです。東日本大震災を引き起こした2011年の東北沖地震もプレートが沈み込むことによって発生しました。東北沖地震の後、御嶽山、箱根山、桜島、口永良部島、阿蘇山、西ノ島新島等で火山活動が活発化していることから、東北沖地震との関連が指摘されていますが、東北沖地震で日本列島にどのような力が働いたかを地殻変動の観点からみると地震の前は東西方向に圧縮されていたのが、地震後は東西方向に引っ張られるようになり、その傾向は、今後100年間は継続するというシミュレーションが行われました。しかし、その力の及ぶ範囲はせいぜい東北から北関東に掛けてだけで、日本列島全体に及ぶものではないようです。一方、火山噴火によって色々な災害をもたらされているのも事実です。去年の御嶽山の噴火では、63名の死者行方不明者が居られます。とても残念なことです。噴火予知に用いられる火山性微動が噴火の11分前に漸く発生したのみで、マグマが直接関与しない水蒸気噴火の予知の難しさが明るみに出ました。2011年の霧島新燃岳の噴火では、噴火の際に空振が発生し、50km離れた宮崎市内にまで影響を与えました。空振というものをご存知でない住民の方が多く不安に思われたようです。2000年の有珠山の噴火は、日本で初めて噴火予知に成功しました。有珠山は高粘性のマグマが地下を上昇してきたために、地表が変形する地殻変動をもたらしました。一番変形した所では、約90m地表が隆起しました。

火山噴火には山体噴火と巨大カルデラ噴火があり、それぞれ噴火様式が全く異なります。巨大カルデラ噴火は、噴煙柱を吹き上げる噴火で始まり、その後で火砕流と呼ばれる破局的な噴火が発生し、火砕流から舞い上がった火山灰が広範囲に地表を覆うといった噴火経緯をとります。28000年前の始良カルデラの噴火に基づいて九州中部で同じような噴火が起きたとするとどのような災害が起きるかということをしらべると日本が滅びてしまうかもしれないというような推測がなされました。また実際に7300年前の縄文時代に九州南方の鬼界カルデラを形成したカルデラ噴火では、南九州の縄文文化が滅び、約200年間、花粉が生まれないという研究結果もあります。日本列島の47火山は、気象庁により24時間モニターされていますので、噴火予知は徐々に向上していますが、カルデラ噴火については全く無防備だということをお話させて頂きました。



<SAA報告> 藤田芳浩 SAA

*スマイルボックス

水本会員 20日12時26分にやっと出てきました！
相原会員 次男に孫（男子）が誕生しました。
村田会員 本日卓話、神戸大の鈴木先生の火山の話です。よろしくお願いします。
黒川会員 東京に行ったり来たり。
コメント無し 山下・西本 各会員

*ロータリー財団

村田会員 寒くなってきました。
藤田会員 村田会員、お気遣いありがとうございます。
コメント無し 山下会員

*米山記念奨学会

藤田会員 今日は、歩きのゴルフでした！
コメント無し 山下・小山・村田・西本 各会員

*ラオス基金

木下(健)会員 今日はファインセッションです。
松田会員 気分の悪いことがありました。
コメント無し 山下・西本 各会員

*メイプル基金

木下(健)会員 鈴木様、今日はよろしくお願い致します。
山本(友)会員 鈴木さま、卓話よろしく御願い致します。
松田会員 11月が終わります。来週は師走。
黒川会員 パンフレットありがとう！！
藤田会員 11月も終わり、師走です。
水島会員 村田会員、卓話よろしくお願いします。
コメント無し 山下・相原・西本 各会員

<編集後記・追加情報・チョット一言・ライブラリー・etc>

鈴木さんが火山学者とわかったのは御嶽山の爆発があった後。診察の後に、「内緒だけどちょっと珍しい体験をしてきました」とテレビ出演の話題からでした。

福島21ロータリークラブとの姉妹クラブ締結以来、一度私達の防災について卓話を組んでみたいと思ってきたこともあり、山登りをされる会員もありますのでぜひにとお願いしました。火山のこととなるとこれも、これも、と早口で話され火山防災への熱い思いが伝わってきました。先生から頂いたまとめと写真を入れました。写真は少し重かったかな…。

(担当 村田)